

利賀っ子だより



R4. 12. 22

○ 2学期が終わりました

80日間あった2学期が、今日で終わりました。

県内では、利賀小・中学校が一番早い終業式です。そのため、テレビ局や新聞社の方々が取材に来てくださいました。さすが利賀っ子。たくさんの報道陣に囲まれても、ひるむことなく、いつも通りだったことに感心しました。

2学期の始業式で話した「あきらめない」ということについて自分はどうだったかを聞いてみました。全員が「あきらめなかったことがある」と答えました。嬉しかったです。どの子供も、あきらめないで挑戦し、その結果、成長するという大切なことを学んだ2学期だったと言えると思います。

3学期の始業式には、なりたい自分になるために今度はどんなことに挑戦してどんなふうに成長したいと思っているのか心に決めて登校してほしいと子供たちに話しました。

2学期最後の清掃の時間の前に教務主任から「どんなことをしたらよいかは、みんなに任せます」という声かけがありました。

クリーニングのためにモップを取り換える作業を率先して引き受ける子供、各掃除場所のごみ箱の中をきれいに洗っている子供、下足入れの土受けを外してその下まで拭いている子供等、それぞれが考えて活動している姿に感心しました。同時に「～するように」と活動内容まで指示しない声かけが子供たちのやる気を高めたことも感じました。



【代表児童の発表】



【子供たちのエネルギーの源
2学期最後の給食】

【掃除の時間の様子】

年が明けて1月13日から3学期が始まりますが、「チーム利賀」として子供たち・教職員一同、心をあわせて活動に取り組んでいきます。これからもどうぞよろしくお願いいたします。

(高田 公美)